

環境分野の研究を促進



環境研究推進本部

下水道機能復旧研究官 **内田 勉** 水環境研究官 **福濱 方哉** 津波災害研究官 **岡本 修**
 道路環境研究室長 **井上 隆司** 建築環境研究室長 **足永 靖信** 緑化生態研究室長 **栗原 正夫**

(キーワード) 環境、エネルギー、地球温暖化、CO₂、生物生息地、土地利用、居住環境、廃棄物

4.

仕事の進め方のイノベーション

1. はじめに

国総研の各研究部・センターは、国土マネジメントに関する研究を進める中で、環境に関わりのある取り組みを進めている。環境研究推進本部は、国総研が実施する全分野の環境研究について、情報の共有と対外的発信を図るとともに、分野横断的な調査研究等の推進に寄与することとしている。

2. 環境分野の研究

国総研における環境研究は多岐にわたる。近年は、エネルギー、地球温暖化を始め、生物生息地、土地利用・居住環境、廃棄物などの政策課題に対応し、研究が進められている(図)。

り組んでいる。環境研究に携わる国立、独立行政法人及び国立大学法人の13研究機関が一堂に会する環境研究シンポジウムは『2050年の地球と暮らし～環境技術と地球規模課題～』をテーマに11月開催され、国総研から講演やポスター発表を行った(写真)。

また、環境研究に関する情報交換を行い、研究者のネットワークを広げ、一層効果的に研究推進を図るため、研究交流会を重ねている。2015年度は“国土交通行政における環境研究の展望”“水素エネルギーの活用”に関し意見交換を行い、環境分野の研究に取り組む研究者の相互交流を促進した。

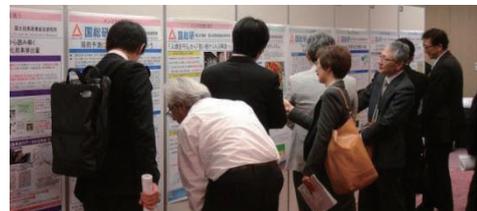


写真 環境研究シンポジウム 国総研の研究紹介

このほか、環境分野の研究者名簿の整備、ホームページ等による情報発信に取り組んでいる。

4. 今後の展開

環境分野の幅広い研究は、経済基盤の拡充や防災・減災の取り組みとの相乗効果により、実務に直結する特色ある展開が図られる可能性を有している。環境研究推進本部は、環境分野に係る今後の研究のあり方を追究しその推進を図るとともに、広く研究者や行政機関、国民の皆様へ、国総研の最新の環境研究の成果を発信する。

☞ 詳細情報はこちら

環境研究推進本部HP
http://www.nilim.go.jp/japanese/organization/k_honbu/indexkankyuu.htm

環境全体	【環境研究推進本部】国土マネジメントという文脈でとらえた環境研究の概観と進展
エネルギー 再生可能エネルギー	【下水道研究部】 下水敷の有効活用(e-DASHプロジェクト)
	【下水道研究部】 下水バイオガスを原料とした水素エネルギーの利用
	【建築研究部】 低炭素水素エネルギーの活用技術
	【防災・基盤センター】 都市における植物資材のエネルギー利用に関する研究
エネルギー 省エネ・熱	【下水道研究部】 再生水利用システムに係るエネルギー消費をどれだけ減らせるか
	【道路交通研究部】 道路施設のエネルギー有効活用方策の検討
	【建築研究部】 ビルの省エネ設計を誘導するエネルギー消費性能予測ツールの開発
	【建築研究部】 非住宅建築物のエネルギー消費実態と省エネルギー化のための施策
	【住宅研究部】 改正省エネルギー基準における住宅性能の評価方法の作成
	【住宅研究部】 住宅の設計ツールとしての省エネルギー基準用プログラム
CO ₂ 排出量・固定量	【道路交通研究部】 自動車走行データから読み解く道路交通分野の二酸化炭素排出量
	【道路交通研究部】 コンクリート構造物による二酸化炭素固定量の把握
	【防災・基盤センター】 身近な樹木が固定するCO ₂ の量は?
	【空港研究部】 空港からの二酸化炭素排出量の算定と削減効果の推計
気候変動適応	【河川研究部】 治水システム理解の深化と気候変動適応
	【河川研究部】 既設ダムを使って洪水被害を低減
	【河川研究部】 河川における実践的な環境管理
	【土砂災害研究部】 気候変動に向けてどう変わる—土砂災害とその対策—
	【沿岸海洋・防災研究部】 日本沿岸の平均海面水位の長期的な変動はどうなっているの?
生物生息地	【河川研究部】 ダムの中規模フラッシュ放流による河川環境改善効果
	【防災・基盤センター】 GISと生息地モデルによる広域スケールでの生物の生息環境の評価と地図化の試み
	【沿岸海洋・防災研究部】 内海の魚類の生息場利用特性に基づく(類型)と生息場デザインの検討
	【沿岸海洋・防災研究部】 人とふれあう東京湾を生物豊かな海に
土地利用・居住環境	【建築研究部】 「人命を守る」から「使い続けられる」構造へ
	【都市研究部】 人口の減少・高齢化等に対応した持続可能な都市づくりを支えるための技術開発
	【防災・基盤センター】 これからの社会を支える都市の自然環境・人口減少や都市再編に対応した緑地計画技術
廃棄物	【沿岸海洋・防災研究部】 新規漂着ゴミ量に対する海岸の線形応答特性

(環境研究シンポジウムのポスター表題等を参考に作成)

図 国総研における環境研究の事例

3. 研究の促進

環境研究推進本部は、国総研における環境分野の研究を、その特徴に立脚してアピールすることに取